

ふくしま通信 - 第13号 -

2017・08.07

“ふっこうのかけ橋” 実行委員会
実行委員長 拵井 一義

♪ あおい空 しろい雲
わたしたちをつつむ めぐみの中で
手と手をあわせたら みんな 家族になる
よろこび ひろげよう とともに歌いながら
ふっこうのかけ橋は 七色の虹のように
やさしく伸びるよどこまでも 幸せはこぶため
Let's cross the bridge for our future
傷ついたらつばさやすめて
Let's cross the bridge for your future
明日への橋をわたろうよ・・・♪
「ふっこうのかけ橋」 公式テーマソング より)

この曲のとおり、今年も4泊5日という短い期間でしたが、福島と神戸の子ども達が、手と手をつないで一つの家族となり、楽しいひとときを過ごすことが出来ました。今回は南相馬市の原町教会からも、小学生の初参加があり、福島市内と合わせて、小学生12名、中学生2名の計14名が北須磨教会のサマーキャンプに参加。そしてお母さん5名と幼児3名は、時々子どものプログラムを見学しながらお母さんのために用意されたプログラムを楽しまれました。



初日、住吉教会では、たくさんの方々が、子ども達のために心づくしの夕食をご準備



くださり、食堂に入るなり“うぁ～ホテルに来たみたい”と目を見張っていました。

翌日から北須磨教会のサマーキャンプに合流し、さっそくアジュール舞子へ海水浴に。水しぶきに歓声があがっていました。北須磨の皆さんには、キャンプ期間中のすべての食事やお茶作りにご協力頂き、特別お世話になりました。



2日目の8/5(土)は、迷走台風に頭を悩ませましたが、幸いにも晴れて午前「平和学習」のため、北野町界隈の諸宗教施設を訪問。

それぞれの宗教が大切にしている「平和」についてお話を聞き、平和な世界ってどんな世界？を言葉や絵にして表現し奉納しました。お話を聞く時間に余裕がなく、どれ程こども達に平和であることの大切さが伝わったかは判りませんが、平和の種がこども達の中で育ちますようにと願うばかりです。

午後からは神戸地区主催の平和旬間プログラムに参加し、ミサ後には各小教区にご協力を頂いて夏祭りが開かれました。庭に用意された出し物を思う存分楽しむ姿が、あちらこちらで見



られました。キャンプ中の宿泊を含むすべてのプログラムに、六甲学院の生徒達が積極的に関わってくれ、子ども達も身近なお兄ちゃんリーダーとの出会いを喜んでいました。

翌8/6(日)は北須磨での主日のミサに集い、北須磨の皆さんにも歓迎して頂きました。司式された申神父様からも、「北須磨でこんなにたくさんの子どもの見るのは初めてのことで、いやぁ嬉しいなあ・・・。いつもこんな感じやったらいいのになぁ」と最大級のウエルカムを頂きました。ミサ中の説教では、子ども達の目の輝きの素晴らしさや楽しいことがいっぱいあるから、いっぱい遊みましょう！でも暑いから水分もしっかりとってくださいね。といった嬉しいお話が中心でした。最後にもう一度、しっかり遊みましょう！と言われた時、一人の子どもが大きな声で「ハイ！」と応え、聖堂内のそこここから拍手がわき起こり、微笑ましい雰囲気の中に終了しました。

翌月曜日は最終日、台風を避けるために列車の時刻を早め、新神戸から全員元気よく帰福されました。この紙面には書ききれないたくさん思い出が、子ども達の成長の糧となることを願っています。

